

2025年度 日本線虫学会 第32回大会

会期 2025 年 9 月 1 日（月）～3 日（水）

大会会場 北海道立道民活動センター かでる 2・7
（北海道札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）
大会議室（4 階：受付、公開シンポジウム、口頭発表、総会、若めの会）
520研修室（5 階：ポスター発表）

懇親会会場 ホテル 札幌ガーデンパレス 2 階大宴会場「丹頂」
（札幌市中央区北 1 条西 6 丁目 3-1、TEL：011-261-5311）

大会日程

9 月 1 日（月）

13:30～16:50 公開シンポジウム
「ジャガイモシロシストセンチュウ対策とふ化促進物質研究の進展」
18:00～20:00 懇親会

9 月 2 日（火）

9:15～11:45 口頭発表
11:45～13:10 休憩
13:10～14:50 ポスター発表
15:00～15:45 口頭発表
16:10～ 若めの会

9 月 3 日（水）

9:15～10:15 口頭発表
10:20～11:20 総会・表彰式

大会プログラム

9月1日（月）

公開シンポジウム

「ジャガイモシロシストセンチュウ対策とふ化促進物質研究の進展」

- | | | |
|-----------------------------|--------------|-------------|
| 1. 開催にあたって | （農研機構 串田 篤彦） | 13:30～13:40 |
| 2. 事前ガイド：ジャガイモシロシストセンチュウ類とは | （農研機構 坂田 至） | 13:40～14:00 |

第1部 ジャガイモシロシストセンチュウ緊急防除のこれまでとこれから

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------|
| S1 ジャガイモシロシストセンチュウ緊急防除の取り組みと将来展望 | |
| | （網走農業改良普及センター 竜滝 剛） 14:00～14:30 |

- | | |
|---------------------------------|---------------------------|
| S2 ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性バレイショ品種の開発 | |
| | （農研機構 赤井 浩太郎） 14:30～15:00 |

第1部 質疑・討論	15:00～15:20
-----------	-------------

＜休憩 15:20～15:30＞

第2部 ジャガイモシロシストセンチュウふ化促進物質研究の最前線

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| S3 シストセンチュウ孵化促進物質：単離構造決定と今後の展望 | |
| | （神戸大学 秋山 遼太） 15:30～16:00 |

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| S4 単純構造ふ化促進物質の発見と防除活用の試み | |
| | （農研機構 串田 篤彦） 16:00～16:30 |

第2部 質疑・討論	16:30～16:50
-----------	-------------

懇親会 18:00～20:00

9月2日(火)

口頭発表

O01 9:15～9:30

イモグサレセンチュウのニンニクへの侵入経路について ○森 太¹・青山 理絵²・吉賀 豊司¹
(¹佐賀大・²青森県産技セ)

O02 9:30～9:45

ジャスモン酸類縁体の処理によるネコブセンチュウ害抑制効果 ○村田 岳¹・富高 保弘¹・
櫻井 民人¹ (¹農研機構・植防研)

O03 9:45～10:00

シソ芳香成分 Perillaldehyde の *Meloidogyne incognita* に対する殺線虫効果を利用した
減農薬への取り組みに関する研究 ○藤川 碧¹・豊田 剛己¹ (¹東京農工大学大学院)

O04 10:00～10:15

アスパラガス根株のサツマイモネコブセンチュウに対する殺線虫効果の検討 ○札 周平¹・
樋口 洋子¹・勝田 真帆¹・高木 素紀¹ (¹茨城農総セ鹿島特産)

O05 10:15～10:30

マツ材線虫病の病原体 *Bursaphelenchus xylophilus* とその近縁種における雑種形成の年
次比較 ○池田 優月¹・柳澤 賢一²・石川 直子³・陶山 佳久³・新屋 良治¹ (¹明治大・²長野県
林業総合センター・³東北大)

O06 10:30～10:45

マツノザイセンチュウにおける性フェロモン受容体の探索 ○上園 駿¹・桐野 巴瑠^{1,2}・中野
俊詩³・新屋 良治¹ (¹明治大・²森林総研・³名古屋大)

O07 10:45～11:00

樹液に生息する線虫 *Bursaphelenchus tadamiensis* のエタノール耐性 ○吉富 恭果¹・神
崎 菜摘²・新屋 良治¹ (¹明治大・²森林総研)

O08 11:00～11:15

昆虫嗜好性 *Tylenchina* 亜目線虫における条件的寄生と配偶子二型の進化的意義 ○藤森
友太¹・新屋 良治¹・神崎 菜摘² (¹明治大・²森林総研関西)

O09 11:15～11:30

滋賀県の湖東地域に生息するカエル寄生性線虫の種類と分布 ○神田 一成¹・岩堀 英晶¹
(¹龍谷大学)

O10 11:30～11:45

栄養物質イメージングに向けた極限環境に棲む胎生線虫 *Tokorhabditis tufae* の形質転換
手法の確立 ○山下 達矢¹・蓮見 麻有¹・春田 奈美²・杉本 亜砂子²・新屋 良治¹ (¹明治大・
²東北大学大学院)

ポスター発表 13:10～14:50

コアタイム：奇数番号 13:10～14:00

偶数番号 14:00～14:50

- P01 Natural distribution of the beech leaf nematode *Litylenchus crenatae* (Nematoda: Anguinidae) across Japan. ○Nakagaito, A.¹, Sugiyama, T.¹, Iio, A.², Marra, R.E.³, Martin, D.K.⁴, Vieira, P.⁵, McIntire, C.⁴, Hasegawa, K.¹ (¹ Chubu Univ., ² Shizuoka Univ., ³ CAES USA, ⁴ USDA Forest Service, ⁵ USDA ARS)
- P02 サツマイモネコブセンチュウの卵嚢の形態変化と卵の孵化における水分条件の影響 ○原田 美希¹・新屋 良治¹ (¹ 明治大)
- P03 テンサイシストセンチュウに抵抗性を示すトマト品種の探索とそれによる密度低減効果 ○岡田 浩明¹・松下 航² (¹ 農研機構植防研・² カゴメ株式会社)
- P04 画像認識による植物寄生性線虫 11 種群と自活性線虫の識別 ○与謝野 舜¹・上杉 謙太¹・立石 靖² (¹ 農研機構植物防疫研究部門・² 農研機構管理本部)
- P05 植物寄生線虫の宿主認識における TRP-V チャネルの機能解析 ○福田 純太¹・佐々木 康幸¹・矢嶋 俊介¹・伊藤 晋作¹ (¹ 東京農大)
- P06 新規 GCY-9D 活性化剤 YS-1 によるシストセンチュウ宿主認識行動の選択的阻害 ○佐伯 靖将¹・川田 紘次郎¹・佐々木 康幸¹・矢嶋 俊介¹・伊藤 晋作¹ (¹ 東農大バイオ)
- P07 ニセフクロセンチュウの無摂食成長時における脂質代謝経路の解析 ○亀田 康平¹・日高 旭峻¹・吉竹 悠宇志²・新屋 良治¹ (¹ 明治大・² 立命館大)
- P08 サツマイモにおけるサツマイモネコブセンチュウ感染応答遺伝子の発現解析 ○諏訪 奈央人¹・大谷 基泰²・浅水 恵理香¹ (¹ 龍谷大学・² 石川県立大)
- P09 明暗条件下で栽培した植物根へのネコブセンチュウの誘引行動 ○大島 弥澄¹・伊藤 陽菜子¹・西田 翔¹・吉賀 豊司¹ (¹ 佐賀大学)
- P10 ネコブセンチュウ誘引剤としてのフルオピラムの構造活性相関研究 ○西岡 瑞稀¹・福田 純太¹・川田 紘次郎¹・岡 雄二²・佐々木 康幸¹・矢嶋 俊介¹・伊藤 晋作¹ (¹ 東農大・² ギラット研究所)
- P11 Ecophysiological Impacts of Temperature on the Life Cycle and Morphometrics of *Ditylenchoides destructor*. ○Jannuan, P.¹ and Yoshiga, T.¹ (¹ Saga Univ.)
- P12 *Aphelenchoides* 属線虫における乾燥耐性 ○田中 悠樹¹・吉賀 豊司¹ (¹ 佐賀大)
- P13 昆虫病原性線虫と共生細菌が持つ農業病害生物制御能の検討 ○杉本 彩夏¹・杉山 大騎¹・長谷川 浩一¹ (¹ 中部大)

- P14 昆虫病原性線虫の共生細菌由来殺虫タンパク質毒素の評価系開発の試み ○杉山 大騎¹・長谷川 浩一¹ (¹中部大学)
- P15 糸状菌を用いたカミキリムシ科昆虫の寄生性線虫の人工培養について ○小澤 壮太¹・鳥居 正人¹ (¹森林総研東北)
- P16 *Bursaphelenchus okinawaensis* の島特異的な生殖可塑性進化の解明 ○木村 拓己¹・新屋 良治¹ (¹明治大)
- P17 遺伝子多型、繁殖期、および寄生性線虫種によって明らかとなった日本産ケラ *Gryllotalpa* 属 4 種の隠蔽種 ○加賀 航士郎¹・長江 星八¹・長谷川 浩一¹ (¹中部大学)
- P18 鹿児島県のカドマルエンマコガネに便乗する *Sudhausia* 属未記載種 ○大橋 怜司¹・神崎 菜摘²・新屋 良治¹ (¹明治大・²森林総研)
- P19 宿主脱皮による脱落を回避するシロアリ便乗性線虫の適応行動 ○勝見 友亮¹・高田 守¹・松浦 健二¹ (¹京都大)
- P20 *Sagra femorata* に随伴する *Acrostichus* 属線虫の生活史の解明 ○鹿内 拓斗¹・松田 陽介¹・北上 雄大¹ (¹三重大院生物資源)
- P21 ナメクジ病原性線虫 *Pellioditis* spp. の腹足類への誘引性 ○市石 宙¹・佐藤 綾香¹・神崎 菜摘²・新屋 良治¹ (¹明治大・²森林総研関西)
- P22 日本産ナメクジカンセンチュウ属種の宿主範囲～科を超えた寄生は可能なのか?～ ○野崎 拓真¹・鈴木 花菜¹・澤畠 拓夫¹ (¹近大農)
- P23 ユスリカに寄生するシヘンチュウの生態と宿主操作の可能性 ○當銘 由薫¹・高下 日花里¹・吉賀 豊司¹ (¹佐賀大学)
- P24 シヘンチュウが引き起こすユスリカの間接性 ○高下 日花里¹・吉賀 豊司¹ (¹佐賀大)
- P25 Succession of parasitic nematodes from *Gyrinicola* spp. (Oxyuridomorpha: Gyrinicolidae) to *Cosmocerca* spp. (Rhigonematomorpha: Cosmocercidae) during metamorphosis of Anuran hosts. ○Makita, N.K.¹, Imazu, M.¹, Mizukoshi, M.¹, Nagae, S.¹, Li, L.², Hasegawa, K.¹ (¹ Chubu Univ., ² Hebei Normal Univ. China)
- P26 How does *C. elegans* forage in complex environments? ○Al-Asmar, A.^{1,2}, Lloret-Cabot, R.^{1,3}, Pérez-Escudero, A.¹, Nishigami, Y.², Nakagaki, T.² (¹ CRCA, Toulouse, France, ² RIES, Hokkaido Univ., ³ TCEG, CEAB, Spain)

口頭発表

O11 15:00～15:15

線虫感染性 RNA ウイルスカタログの構築 ○千葉 悠斗¹・田中 龍聖²・新屋 良治¹ (¹明治大・²宮崎大)

O12 15:15～15:30

標高傾度によるスギ人工林の土壌線虫群集構造の変化 ○竹田 奏斗¹・松田 陽介¹・北上 雄大¹ (¹三重大院生物資源)

O13 15:30～15:45

スギの樹幹における蘚類サイズが線虫の群集構造に及ぼす影響 ○北上 雄大¹・松村 龍一¹・松田 陽介¹ (¹三重大院生物資源)

若めの会 16:10～

9月3日(水)

口頭発表

O14 9:15～9:30

ピーマン品種「NR みおぎ」におけるネコブセンチュウの増殖性 ○上杉 謙太¹・村田 岳¹ (¹農研機構植防研)

O15 9:30～9:45

千葉県で発見された *Heterodera cruciferae* の同定 ○関本 茂行¹・中江 和紀¹・井関 崇¹ (¹横浜植防)

O16 9:45～10:00

千葉県で発見された *Heterodera cruciferae* に対するネマトリンエース® 粒剤の防除効果
○小角 拓也¹・片山 孝一¹・瀧本 卓¹・元吉 真衣² (¹石原産業・²千葉農林総研)

O17 10:00～10:15

量子バイオ技術の有害線虫防除への応用可能性の検討 ○鈴木 芳代¹ (¹QST 高崎研)

総会 10:20～11:20

一般講演について

口頭発表の講演時間は、討論や PC の交換時間を含めて 1 題 15 分間です（1 鈴 12 分、2 鈴 15 分）。口頭発表では、PC プロジェクターのみ使用できます。各自のノート PC をご持参ください。PC プロジェクターとの接続は HDMI です。変換ケーブルが必要な方は各自ご持参ください。

今大会の口頭発表は、講演者が次の講演の座長を担当する「持ち回り方式」で運営します（午前と午後の最初の講演は大会運営委員が担当します）。

ポスター発表の会場（520研修室）は大会 2 日目（9/2）9:30 から利用できます。9 月 2 日の午前中に掲示を終え、午後からのポスターセッションに備えて下さい（コアタイムはプログラムを参照ください）。ポスターは大会 3 日目の総会開始前までに撤収してください。

本大会のすべての講演要旨は、日本線虫学会誌第 55 号に掲載する予定です。講演要旨の修正が必要な場合は、2025 年 9 月 30 日（火）までに、大会事務局アドレス（taikai@senchug.org）宛に、修正箇所を明示した講演要旨のファイルをメール添付で提出してください。

懇親会について

懇親会は会場近くにある、ホテル札幌ガーデンパレス（中央区北 1 条西 6 丁目：会場より徒歩 4 分）で開催します。参加者は 18 時までに懇親会会場にお集まりください。

